

新型ノロウイルス（GⅡ.17 変異型）の検査法についてのお知らせとお願い

厚生労働省登録検査機関
株式会社 中部衛生検査センター
代表取締役 小澤博美

テレビニュースなどで報道されているとおり、昨年から新型ノロウイルスと言われている GⅡ.17 変異型が、川崎市などで相次いで検出されています。この新型ノロウイルスは、これまで検出例が少ない GⅡ.17 型が変異したもので、国立感染症研究所では、今後大流行の恐れがあると警告しています。

弊社が行っている検査法の一つにエライサ法（抗原抗体反応を利用した方法）がありますが、現段階では GⅡ.17 変異型の検出率が低いことが判明しました。これは、便や吐物に含まれるウイルス量の問題ではなく、原理的に GⅡ.17 変異型を検出することが難しくなっているためで、検査試薬メーカーも現在改良に取り組んでおりますが、今年度中の改良は厳しいという回答を頂きました。

他の検査法である RT-PCR 法やリアルタイム PCR 法（両方とも遺伝子増幅法）では、GⅡ.17 変異型が問題なく検出されております。
また、エライサ法で GⅡ.17 変異型以外は問題なく検出されております。

エライサ法は、迅速性と経済性に優れておりますが、流行の兆しがあるノロウイルス GⅡ.17 変異型を検出できない恐れがあるということをご理解いただき、現在、エライサ法でのノロウイルス検査をご依頼頂いているお客様には、RT-PCR 法やリアルタイム PCR 法への切り替えをご検討くださるようお願い申し上げます。

ご質問やご要望等があれば、お問い合わせ下さい。